

## 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成9年2月10日 第45報

### 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	60		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	240		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	40		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	140		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	280	◎	
(珪) <i>Synedra ulna</i>	20		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	40		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		◎
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	260	○	
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	20		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	4		○
(他) その他の植物プランクトン	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	2.9	1.6
(珪) 珪藻綱	860	62.1	45.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	420	30.3	36.6
(み) みどり虫藻綱	20	1.4	0.2
(緑) 緑藻綱	24	1.7	16.3
(他) その他のプランクトン	20	1.4	0.0
総細胞数	1384	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	8.64E+05
種類数	16		

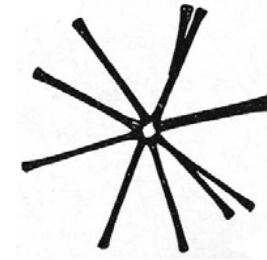
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)  
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)  
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

### 植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	280

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Rhodomonas</i> sp.	260

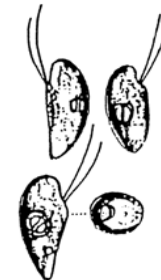
#### 植物プランクトン第1優占種



***Asterionella formosa***  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

#### 植物プランクトン第2優占種



***Rhodomonas* sp.**  
(ロドモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 $\mu\text{m}$ と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。